

今後の町政運営は

町 強い決意を持って町政にあたる

問 町長が担った7年半の町政において、積み残した課題は。

町長 震災復旧と放射能除染対策に多くの時間を費やした分、実現できなかったものもあり残念である。概ね町の事業を9の分野に分け43の公約を掲げた。大部分は実現・もしくは事業に着手している。ただし、総合運動公園整備は事業費の高騰によって先送り

になった。友愛の森の整備は町の観光と地域経済の発展のために並々ならぬ決意を持って、取り組んで行く。

問 今後の町政運営は

町長 「みんなと一緒にまちづくり」を掲げ、夢を語り合い、町民の声に耳を傾けるボトムアップ方式を取り、町民が主役になるまちづくりを目指す。今後も希望を持てる

まちづくりのため積極的で果敢な行政運営をして行く。

問 次期町長選に立候補する考えは

町長 除染も終了し、これから町の将来を決める正念場だと思っている。後援会の判断を仰がなければならぬが、気力・体力とも自信があり、町を発展させる自信もある。強い信念を持ち不退転の決意で行いたい。



地域経済の発展のためになるか！

今後のインバウンド事業は

町 アジアを主要ターゲットに

問 今後どのような戦略でインバウンド事業を進めていくのか。

観光商工課長 当町の外国人観光客の9割がアジア圏からである。タイ・ベトナムなどの国際旅行博に参加し誘客に努める。

問 台湾へのトップセールスによる成果は。

町長 昨年からは白河市・西郷村3市町村で、サイクリング事業を踏まえトップセールスを行っている。今後も広域で連携することにより、魅力度をアップさせ、誘客に結びつけて行く。



台湾へ3市町村でトップセールス

